

理科自由研究のてびき

令和 7 年度

川崎市立千代ヶ丘小学校 理科部

みなさんがお待ちかねの夏休みがはじまります。長い夏休みをうまく使って、ふだんできないことをやってみましょう。

ときどき「ふしぎだな」「なぜだろう」「どうしてかな」と思ったことがあるでしょう。この夏休みには、そういうことを調べてみましょう。きっと楽しい発見ができますよ。

令和7年10月18日(土)

第79回川崎市立小学校科学作品展

麻生区会場 川崎市立南百合ヶ丘小学校

(夏休み明けに、学校推薦作品を選びます。)

☆自由研究のすすめかた

① テーマを見つけよう!

テーマを見つけないことには研究ははじまりません。テーマを見つけることが大切です。次のようなことを参考にしましょう。

- 自分の身の回りのできごとの中でふしぎに思ったこと。
- 本やテレビを見ていて「おもしろいな」と思ったこと。
- 学校の学習の中でもっとくわしくしらべたいと思ったこと。
- どこかに出かけたとき、あたらしく見つけたこと。
- 友だちやほかの人から聞いたことで「あれ、へんだな」と思ったこと。

例

アサガオの育ち、アゲハチョウの育ち、メダカの観察、ゴムのはたらき、風のはたらき、水に浮くもの、川の石の形、太陽の動き、月の観察

② なにをくわしく調べるかきめる

テーマを見つけたら、その中でもどんなことをくわしく調べるのかを考えましょう。多くのことを調べることもいいですが、1つのことだけをくわしく調べることも大切です。

種類、形、色、模様、数、長さ、大きさ、広さ、重さ、動き、ちがうところ、にているところ

③ 調べ方を考えて、じゅんじょよく実験や観察をしよう

どのように実験や観察をするのか考えましょう。また、ひとつの観察や実験がおわったら、2つめ3つめ・・・と、じゅんじょよくすすめましょう。終わった実験や観察はすべてノート(野帳)に書いておきましょう。あとでまとめるときに便利です。もし、失敗してもくじけずにやりなおしてみましょう。

観察や実験方法、使う道具、観察の時刻や時間、実験の回数

④ くらべるときは条件を考えて!

なにかとなにかをくらべる実験のときは、じょうけんを同じにして、くらべたいものだけをかえてしらべましょう。

例

ゴムボールとビニールボールのはずみぐあいを調べる時は、りょうほうとも同じ1メートルの高さからおとして、はずみぐあいをくらべます。

⑤ まとめかたの例

研究の題名(工夫してみましよう)

川崎市立千代ヶ丘小学校
〇年〇組(名 前)

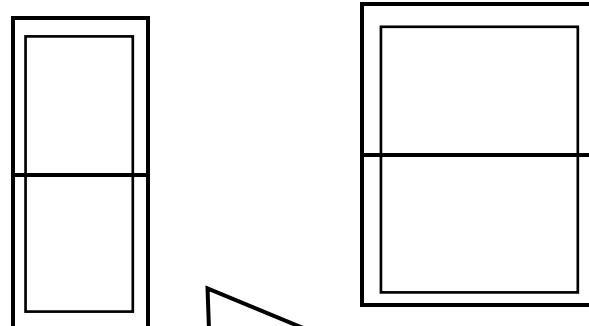
1. 動機 (調べたいと思ったわけ)
2. 課題 (何を調べるのか、内容をはっきりさせましよう)
3. 計画(観察・実験方法)
(どんな道具を使って、いつ、どこで、どんなふうにするのか、絵や図を使って分かりやすくましよう)
4. 予想
(観察・実験する前に、自分でどんな結果になるか考えてみる。理由も書きましよう)
5. 観察や実験の結果
(字だけでなく、図や表、グラフ、絵、写真などを使って、結果を正確に分かりやすくあらわましよう)
6. まとめ
(わかったことや考えたこと、反省、ぎもん、感想など)

※参考資料(参考にした本や図鑑の名前、出版社など)

模造紙は、線の入った物をつかうと、文字や表が見やすくなります。

☆模造紙はたて・横向き2枚以内です。

☆野帳(やちょう)を大切にましよう。野帳とは、観察や実験の結果を細かくメモしたノートのこと。作品を出すときに、いっしょに先生に出ましよう。



模造紙の枚数はたて、もしくは横にして2枚以内です。布ガムテープで裏打ちをまします。